

モニタリングステーション

Description



解説

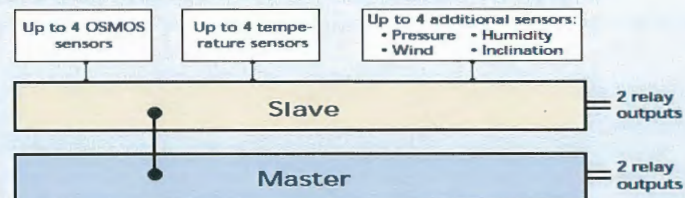
OSMOS光学センサーからのシグナルを、処理、表示する計測機器であり、その目的のためだけに特別に開発されたプロセッシング・ユニットで構成されます。

マスターとスレーブの二つのコンポーネントから構成され、モジュール仕様となっています。スレーブはセンサーからの計測数値を受け取るために使用され、マスターはデータを処理して表示し、外部と交信します。

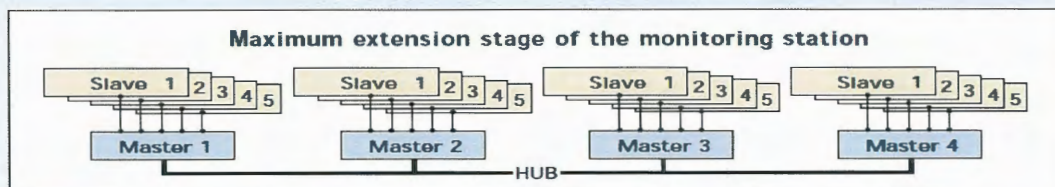
1基のスレーブは、4基のOSMOS光学センサー、4基の温度センサー、4基のOSMOS以外のセンサーが接続可能です。バス (RS 485) を介して、1基のマスターに5基までのスレーブが接続可能です。4基のマスターがネットワーク接続できるため、OSMOS光学センサー、温度センサー、圧力・湿度・風・傾斜計などの追加センサー各80基を接続した、計20基のスレーブでの計測、評価が可能です。

Applications

Minimum configuration of the monitoring station



Maximum extension stage of the monitoring station



技術仕様

Master and Slave マスター及びスレーブ

Ambient temperature: Service life: Emergency power supply: Specification: Housing:	周囲気温： エアコンを使用せずに、-20℃から+80℃。 耐用年数： >10 年間 緊急時電源： 24V, 2A 仕様： EN61010 ケース： 19"プラグイン・モジュール、1基のラックユニット
Master	
Operating voltage: Outputs:	マスター 作動電圧： 100V から 260V AC 出力： スレーブ用 24V、2A 10/100 Base T イーサネット・インターフェイス RS232 シリアル・インターフェイス アナログ・モデム リレー部 2 箇所、24V,0.1A 変換
Signal processing:	シグナル処理： 5 基までのスレーブを接続可能 動的平均値、10ms から 1s 間隔、設定可能 300 の動的平均値のためのトロイダル・コア・メモリー、3s から 300s 静的平均値、100s から 86,400s(1日当たり)、設定可能
Alarms:	アラーム： 動的、静的は 4 つの閾値を含む、設定可能 情報供給は、局所的にはリレー部を経由し、外部的には E-メール、 SMS,FAX,SNMP トラップを経由。設定可能
Storage:	蓄積： 必要に応じて動的平均値、或いは閾値を超えた値を蓄積。基本的には静的平均値を蓄積。
Display:	ディスプレイ： ダッシュボード、X-Y グラフ、ポーラグラフ、表
Communications:	通信： 3 基までのマスター、5 基までのスレーブの追加可能。 http,telnet, SNMP, SMTP, FTP, TCP/IP, PPP, SMS, Fax
Disc storage capacity:	ディスク蓄積キャパシティ： -動的計測の際+マスターの最大拡張は 10 年間まで -静的計測の際(1value/hour)+マスターの最大拡張は 9500 年間まで
Slave	
Operating voltage: Inputs:	スレーブ 作動電圧： 24V DC, 2A 入力： 光ファイバーセンサー4 基、2 から 39dB、動的 25dB、分解能 0.001dB、 精度 0.005dB、スキャンニング・レート 100Hz 温度センサー4 基、Pt1000、分解能 0.1℃、精度 ΔT0.1℃、絶対値 0.5℃、 スキャンニング・レート 10Hz 追加 4 センサー用電圧入力 4 箇所、0V から 10V DC、分解能 16 ビット、 スキャンニング・レート 100Hz
Outputs:	出力： RS422 インターフェイス、リレー部 2 箇所